

「川に学ぶ体験活動協議会」活動紹介

NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会 事務局長 大井 里美

川に学ぶ体験活動協議会（略称RAC）は、「川の指導者」の育成や様々な活動を通じて川と人々との関係をより深いものにしていくことを目的として、平成12年9月に設立され、令和3年8月現在全国の約100団体によって構成されています。

コロナ禍の中、昨年、今年と思うように川での活動をする事ができませんでした。このような状況下で密を避けてキャンプをする人が多く、子どもたちなどが川で事故にあうケースが増えています。水辺の安全を守る他団体と協力をして水辺ではライフジャケットを着ることなどの啓発活動として水辺の安全ネットワーク会議などに参加をしてライフジャケットの大切さを発表しました。また、消費者庁の「子どもの事故防止週間」にもRAC認定『川育ライフジャケット』の展示など協力をしました。

水辺で遊ぶ時にはぜひ、命を守るためのライフジャケットの着用を推奨いたします。近隣の大型スポーツ用品店、大型ショッピングモール、もちろん当法人で簡単に購入することができます。



今回も今後の活動報告及び取組についてご紹介致します。

【川の安全管理動画について】

RAC会員団体から川の安全管理動画の配信について案内がありました。今年の夏もコロナ禍、猛暑で子どもたちは遊ぶところもなく、キャンプ場の川や水辺で遊ぶことが多くなっています。最近9月に入ってもまだまだ暑さが続きます。自分や大切な人の命を危険に晒さないよう、是非、親子、もちろん大人の方々も川の安全管理動画を見て、危険箇所の確認、危険行為などについて確認してから水辺で遊んで欲しいです。水辺の安全や水遊びのご相談については、RAC事務局までお問合せください。

【YouTube】

<https://www.youtube.com/playlist?list=PLwmZ0SXBEkSawEjwz-4jNW8pdaMlB-qN>

【見て、触れて、学び、考える東京 SDGs】



JTB 及び東京観光財団と一緒に東京都での国際環境会議

開催時に、参加する委員の方々のエクスカージョンとして、旧中川から北十間川を経てスカイツリーに行くエコツアーがメニューに掲載されました。Eボートという手漕ぎのボートで川のプラスチックボトルの回収などができるツアーです。コロナ禍でまだまだ国際会議が開催できるのは先だと思いません。東京観光財団のHPにも掲載され、東京都からも記者発表もされました。下記のアドレスの「東京SDGs体験コンテンツガイド」からご確認ください。
<https://businessseventstokyo.org/ja/resources/>

これらの活動を通じ、川のリスクと危険回避の方法が普及され、川での体験活動の機会が増え、川と人が共存できる「川に学ぶ社会」へ近づくことが出来れば幸いです。

《NPO 法人川に学ぶ体験活動協議会》

東京都北区田端 1-11-1 勘五郎ビル 104
TEL:03-5832-9841 FAX:03-6893-2642
<http://www.rac.gr.jp>